

雲竜溪谷山行報告

【山行日】2017年 2月 7(火) 曇り時々晴れ
【集 合】 栃本市運動公園P AM 6:00
【費 用】 マイカー1台 : 1,300円
【メンバー】 CL:鈴木、伊藤、岩淵、大西、島田、
関、渡辺

【コースタイム】栃本市運動公園 P6:00＝
林道ゲート P7:20/7:40～稲荷川展望台 8:30～
洞門岩 8:50～雲竜溪谷入口 9:30～雲竜溪谷
9:50/10:40～堰堤下 11:10/11:50～洞門岩 12:00～
稲荷川展望台 12:20～林道ゲート 12:45＝
日光口 PA13:00/13:15＝栃本市運動公園 P14:15



雲竜溪谷へ行きたいと言う要望があり、平日山行で計画した。雲竜溪谷は厳冬期しか見られない、期間限定のエリアの為、土日は駐車するのが難しい。この日も7時過ぎに林道ゲートに着いたが、駐車スペースはすでに満車になっていた。仕方なくゲート前でUターンし、通行の邪魔にならない路肩のスペースに車を止める。準備を整え、ストレッチを行って出発する。左側のゲート脇を抜け、林道を登って行くが除雪されていて歩き易い。九十九折れの林道を登り切った先に、稲荷川展望台があり砂防ダムや赤薙山の眺望が得られる。寒気の影響で雪雲が赤薙山まで流れて来て、山頂付近は雲が掛かり風花が舞っていた。さらに林道を歩くと洞門岩に着き、ここから沢沿いに登るコースと林道を歩くコースに分かれるが、我々は安全な林道コースを進む。林道もここから先は除雪されてなく、傾斜もきつくなり滑らないように慎重に歩く。トレースを忠実にたどり、しばらく登って行くと林道分岐に出て、右に下る道を進む。200mくらい進むと堰堤上の広場に着き、ここでアイゼンを付ける。ここから階段状の急坂を下りると雲竜溪谷入口に降り、河床を歩くようになる。しっかりしたトレースを辿り、渡渉を何回かすると最初の見事な氷壁が現れる。素晴らしい氷の芸術に「ウワ～綺麗」と歓声が上がり、氷壁の前で記念写真を撮ってもらう。さらに奥に進むと雲竜溪谷の核心部、巨大な氷柱と巨大なツララが織りなす神秘の空間に思わず息をのむ。初めてのI 淵さんは「凄～い、綺麗」と写真を撮りまくっていた。氷柱を見ながらおやつタイ



ムとし、リンゴや菓子を食べて氷の芸術を楽しむ。お腹が落ち着いたら、右の斜面を登り雲竜瀑の氷瀑を見に行く。急斜面を登り、細い道をへつるよう進むと巨大な氷瀑が現れ、いくつかのグループがアイスクライミングを楽しんでいた。



我々は氷瀑と反対側の斜面に登り、アイスクライミングの様子を見物することにする。しばらくアイスクライミングショーを見物したら下山する。下山は来た道を堰堤上の広場まで戻り、ここからは沢沿いのコースを下ることにした。急なアップダウンや、渡渉があるが距離が短いので早く下ることが出来る。

大きな堰堤を越えると広く平らな場所に出て、ここでランチタイムとする。キノコうどんを作るが、

雪の上でガスが出が弱く中々沸騰しない。業を煮やしボンベにお湯を掛けて火力を強くし、ようやく煮上がった。寒い中で待たされて食べる温かいうどんは、いつも以上に美味しく感じられた。ここから少し歩くと洞門岩に着き、ここでアイゼンを外す。環境省が雲竜溪谷のPR用ビデオの撮影に来ており、その方々と会話を交わし往路に戻る。ここからは林道の下りになるが、除雪はされているものの所々凍っており慎重に下る。おしゃべりしながらのんびり下り、40分程で駐車場所に着いた。

平日にもかかわらず入山者が多く、路肩の駐車スペースは全て車が止めてあり、下の大きな駐車場も数台車が止めてあった。途中、日光口PAに寄ってトイレを済ませ、予定より早く栃木市運動公園に帰着出来た。

